

望ましい環境像・長期目標に対する環境審議会委員からの意見

1 環境基本計画「望ましい環境像」について

<盛り込みたいキーワード>

雑木林、未来へつなぐ（持続可能）

<具体的案や事務局案についての意見>

- ・案5がよい ・案1がよい ・案2がよい
- ・案1・案3の表現がよい。雑木林の使い方がスローガンには難しい。
- ・「緑豊かな自然と共生する安全で健康な文化都市・北本」（現行）で良いと思う。

2 環境基本計画「長期的な目標」について

- ・案3がよい
- ・案1・案4が良いのではないかと。東松山市の市民憲章のまとめ方が参考になる。
- ・北本市のまとめ方は一番良いと考える（現行？）
- ・東松山市が良いと思う。3つの目標・目標実現のためのプランとわかりやすく、取り組みやすいと思う。今後北本らしい言葉に置き換えていけばよいのではないかと。

3 その他 自由意見

- ア) 北本市の自然が一番豊かな場所は、荒川土手周辺であるため、市内外から自然に親しめる方法の一助として、駅及び市内各所からの自転車や徒歩での移行が容易な道の整備が必要ではないか（健康年齢の延長対策も視野に入れて）
- イ) 耕作放棄地の緑化（家庭菜園も含め）のため買い上げや借り上げのため条件を整備し地権者が納得しやすい方策を構築できないか
- 人口減・少子高齢化は、現在の日本において（先進国と言われる国・地域全体）おそらく避ける手段はないと考える（自由を手に入れた社会は不可避）その影響は多岐に亘るのだろうが、地球全体の人口が増加していることから近い将来現在の欧米並みに、移民・難民受け入れが現実化するのとはそう遠い将来ではないのでは。労働者対策等目的は様々だろうが、当市も対岸の火事ではいられないような気がする。
 - 自然学習センター、桜、雑木林などの存在を意識
今後の取組については、例えば、ヒグラシの生息している場所を調査→緑の多い場所・湿り気のあるところ→旧家、屋敷林に生息している（市民・児童・生徒にもヒグラシは誰でも聞き分けられる）
 - 北本が直面する環境問題についての新たな認識を求めたい。北本は何が変わったのか。北本が進むべき方向はどこなのか。そしてその理由は何か。将来都市像の実現に向けた北本の考え方を検討したいと思います。
 - 環境にやさしい北本づくりは、豊かな自然、災害に強い立地、歴史と文化のあるまちです。これからの都市政策については、質の向上や持続性、安全・安心の視点を大切にしたい。
 - 最近の気候変動等における自然災害が、従前と規模において各段の差異が、また頻度が大きく増加しているようにみえる。各種の防災対策を視点とした近隣市町村との連携を図っての対応が「持続可能な環境」と思われる。安全な範囲の拡大と、限界を超えた場合はどうするかを明確に提示したほうが自然との共生が取れるように思われる。

以前通知した事務局案

「望ましい環境像」

・緑豊かな自然と共生する安全で健康な文化都市・北本(現行)

案1 自然と調和した持続可能な環境を未来につなぐまち・北本

案2 雑木林が未来へつなぐ人と自然が共生するまち・北本

案3 緑にかこまれた快適な環境をみんなで作るまち・北本

案4 雑木林に学び ともに暮らす 環境負荷の少ない持続可能なまち・北本

案5 雑木林の恵みをつないでいく 環境にやさしい持続可能な社会・北本

案6 持続可能な暮らしを創る 雑木林文化を楽しむまち・北本

案7 人 緑 いきいき 環境文化を育むまち・北本

～雑木林の環境文化を楽しみ、持続可能な暮らしを創るまちをめざして～

「長期的な目標」

現行計画

①自然と人間の共生する環境

②環境への負荷の少ない地域社会の実現

③地球環境を守る地域からの取り組みの推進

案1 前回の審議会資料 重点プログラム案から

①雑木林など自然とのふれあい豊かなまち (自然共生社会)

②3Rによるごみゼロ社会に向けたまち (循環型社会)

③省エネ・創エネなど環境負荷の少ないまち (低炭素社会)

④環境を守り育む人・環のあるまち (協働社会)

案2

①未来へつながる快適で持続可能なまち (ごみ・エネルギー・公害関係)

②雑木林にかこまれた人と自然が共生するまち (緑・水・農地・生物)

③一人ひとりが環境のために考え行動するまち (教育・協働推進)

案3

①環境負荷が少なく、地球にやさしいまち (エネルギー・地球環境問題)

②ごみが少なく、快適に暮らせるまち (ごみ・公害関係)

③雑木林がつなぐ、人と自然が共生するまち (緑・水・農地・生物)

④環境を守り育む、一人ひとりが輝くまち (教育・協働推進)

案4

①雑木林が育む自然やまちにふれあえるまち (緑・水・農地・生物)

②資源やエネルギーを大切に利用するまち (ごみ・エネルギー・公害関係)

③みんなで学び・創る 環境にやさしいまち (教育・協働推進)

案5

①雑木林の多様な環境文化を育み、安心して暮らせる快適なまち

(自然との共生、環境負荷の低減、安心・快適環境の確保、他)

②みんなでチャレンジ 環境にやさしいまち (協働推進)